

## 授業計画

科目名	精神看護学概論		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次	
科目 目標	1. その人らしく生きるための精神看護の目的と意義、精神的健康の概念を理解する。 2. ライフサイクルや社会の動向における精神保健と危機状況を理解する。 3. 精神保健福祉の変遷を踏まえ、精神に障害のある人がその人らしく生きるための社会復帰や地域に必要な社会制度を理解する。						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>			
第 1 回	精神看護の目的・対象、役割と機能	精神看護の考え方 現代社会における精神保健（災害や自殺など） 精神看護と精神科看護、目的・対象	講義	専任教員*			
第 2 回		精神の健康 精神の健康の定義（WHO）、問題と強み 脳の基本的構造と精神の機能 精神障害と国際生活機能分類	講義	専任教員*			
第 3 回		精神看護の理論 ゴールマン、フロイト、エリクソン マラー、危機理論（自我の防衛機制含む） カプランの3つの予防概念	講義	専任教員*			
第 4 回	ライフサイクルにおける危機管理	発達段階における危機状況 胎児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期 成人期、中年期、老年期の危機状況	講義	専任教員*			
第 5 回		暮らしの場での危機状況 家庭、学校、職場、社会生活	演習	専任教員*			
第 6 回		在宅医療・通院医療 災害によるストレス 適応障害など 災害による影響 強いストレスの影響（ASD,PTSD） 被災者と災害救援者の精神保健	講義	専任教員*			
第 7 回			講義	専任教員*			
第 8 回			講義	専任教員*			
第 9 回		精神保健福祉の変遷と活動	精神保健医療福祉の歴史 欧米と日本の歴史	講義	専任教員*		
第 10 回			精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 精神障害者の権利を保障する法律、意義 精神科看護に関連する法制度	講義	専任教員*		
第 11 回	精神科の治療（処遇）と人権擁護 薬物療法、精神療法 環境療法、社会療法（作業療法など）		講義	専任教員*			
第 12 回	地域で暮らすための支援 病院から地域への生活移行のための家族等への連絡調整と生活のための費用、住居の確保 社会参加と精神症状に早期介入するシステム		講義	外部講師* 精神保健福祉士			
第 13 回	精神保健福祉における看護師の役割と課題 多職種連携、地域継続支援、外来看護 地域精神保健活動の現状と課題 精神保健医療に関する資源の活用と調整 地域調査の課題学習の発表		講義 演習	専任教員*			
第 14 回	地域包括ケアシステムを支える看護師の課題 長期入院者の地域移行における現状と課題	講義	専任教員*				
第 15 回	評価	自己学習時間（1h） 修了認定試験（1h）					
テキスト 参考図書	系統看護学講座 系統看護学講座	精神看護学〔1〕精神看護の基礎 精神看護学〔2〕精神看護の展開	医学書院 医学書院	評価 方法	筆記 レポート	70 点 30 点	

## 授業計画

科目名	精神に障害がある人を支える看護の基本		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 精神に障害がある人との関係の構築・発展のための技術を理解する。 2. 精神に障害があり医療や保護を受ける場を理解する。 3. 精神に障害があり医療及び保護を受ける場での必要な看護を理解する。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	精神障害と生活	精神障害の生活への影響 生活機能・対人関係、社会参加への影響	講義	専任教員*		
第 2 回	患者－看護師 関係の構築	対象理解と関係を構築するコミュニケーション技術 対象を理解するコミュニケーション技術 症状に合わせたコミュニケーション技術	講義	専任教員*		
第 3 回		意図的・治療的コミュニケーション	校内 実習	専任教員*		
第 4 回		精神に障害がある人との関係性のアセスメント 再構成の目的、意義、方法 患者－看護師関係のアセスメント	講義	専任教員*		
第 5 回		再構成カンファレンス 自己洞察	講義 演習	専任教員*		
第 6 回	精神科医療に 必要な看護	精神科医療の治療的環境 医療及び保護を受ける場と看護師役割	講義	専任教員*		
第 7 回		精神に障害がある人への検査・治療と看護 薬物療法	講義	専任教員*		
第 8 回		電気けいれん療法、精神療法 精神科リハビリテーション療法	講義	専任教員*		
第 9 回	安全を守る看護	精神科リスクマネジメント 精神科のリスクとマネジメント 安全を守る観察とアセスメント	講義	専任教員*		
第 10 回		観察とアセスメントの実際(演習)	講義 演習	専任教員*		
第 11 回	行動制限と看護	日常生活での行動の制限と看護 危険物、私物管理時の看護 外出、外泊、面会、通信時の看護	講義	専任教員*		
第 12 回		隔離・身体拘束時の看護 隔離室の治療的環境と合併症 Caselearning：隔離、身体拘束の看護	講義	専任教員*		

回	単元	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員
第13回	緊急事態に対する看護	自殺・暴力のリスクマネジメント 自殺、暴力の発動プロセスとアセスメント 自殺・暴力防止への関わり	講義	専任教員*
第14回		無断離院の危険と法的責任 精神に障害がある人への災害時心理と支援 緊急事態発生後のスタッフへのサポート	講義	専任教員*
第15回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)		
テキスト 参考図書	系統看護学講座 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 精神看護学〔2〕精神看護の展開 医学書院		評価 方法	筆記 70点 レポート 30点
備考	<b>【事前学習】</b> ・精神保健福祉法 ・精神科医療でおこなわれる検査・治療 <b>【学習上の留意点等】</b> ・精神に障害がある人への看護技術が習得できるよう講義・演習を構築する。			

## 授業計画

科目名	精神の障害とともに生きるを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次	
科目 目標	1. 精神の障害とともにその人らしく生きるための看護の基本を理解する。 2. 精神の障害による影響を踏まえその人らしさを支える看護の実際を考える。						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>			
第 1 回	精神の障害とともに生きる人のアセスメント	精神機能の障害の観察とアセスメント 精神障害が社会生活に与える影響 強み ・ 対象者と援助者の認識の一致	講義 演習	専任教員 *			
第 2 回	障害とともに生きる人への看護	統合失調症のある人への看護 Case learning : 幻覚・妄想、精神運動興奮のある人への支援 意欲低下や遂行能力の障害のある人への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 3 回		気分障害のある人への看護 Case learning : うつ状態のある人への支援 そう状態のある人への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 4 回		精神作用物質使用による精神・行動の障害のある人への看護 Case learning : 依存への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 5 回		パーソナリティ障害のある人への看護 Case learning : 社会的逸脱への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 6 回		神経症性障害のある人への看護 Case learning : 不安への支援、物理的に障害がない身体症状の訴えへの支援	講義 演習	専任教員 *			
第 7 回		てんかんのある人への看護 Case learning : 発作誘発を防ぐ支援	講義 演習	専任教員 *			
第 8 回		小児期に特徴的な精神の障害への看護 Case learning : 対人関係、コミュニケーション、社会性に障害への支援	講義 演習	小児精神看護 専門の外部講 師 *			
第 9 回		精神科に入院する認知症の人への看護 Case learning : 行動・心理症状(BPSD)による 易怒性や疎通の不良への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 10 回		身体疾患に由来する精神症状のある人への看護 慢性疾患のある精神に障害のある人への看護 終末期にある精神に障害のある人への看護 Case learning : 身体合併症の管理への支援	講義 演習	専任教員 *			
第 11 回		精神に障害のある人とともに暮らす家族への看護 Case learning : 家族としての苦悩への支援、 親亡き後の子どもの将来への不安に対する 支援、家族の強みを生かした地域生活の支援	講義 演習	専任教員 *			
第 12 回		その人らしさを支える看護 Case learning : のぞみと強みをいかした支援 退院後の地域生活を支える為に必要な支援 ライフストーリーを踏まえた看護	講義 演習	専任教員 *			
第 13 回		評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h) (レポ ート : 各講義で GW した内容及び事例に対す る看護の内容をレポートとして提出)				
第 14 回		第 15 回					
テキスト 参考図書		系統看護学講座 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 精神看護学〔2〕精神看護の展開 医学書院		評価 方法	筆記 70 点 レポート 30 点		
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害とその看護について、適宜 Case learning を実施。最終回は、学生が選択した疾患の患者を、事例から実際の看護まで考え、発表する。</li> <li>・ 発表はすべてのグループが発表の機会を持つようにする。</li> </ul>					

## 授業計画

科目名	精神の障害とともに地域で暮らすを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次	
科目 目標	1.精神の障害とともにその人らしく生きるために、暮らしを支える資源とケアマネジメントを理解する。 2.精神の障害とともにその人らしく生きるための自己決定を支える支援、多職種との連携を理解する。 3.地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を理解する。						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>			
第 1 回	地域で暮らすための社会資源と地域包括ケアシステム	精神に障害がある人の特性とその人らしい暮らしを支える地域包括ケアシステム 精神に障害がある人の特性 独特の感受性の高さによる生きにくさ 地域包括ケアシステムの概要と考え方、 社会資源の活用を支える支援体制	講義	専任教員*			
第 2 回		チーム医療における多職種連携の精神保健 福祉施設の実際の見学	見学	外部講師* 精神保健福祉士			
第 3 回		対象と家族の個別性と強みを活かす支援 対象の持つストレングス(強み)に着目した支援方法 ICF モデルの考え方 対象と家族を支援するピアグループの活用	講義	専任教員*			
第 4 回		地域の暮らしと社会資源の活用 生活支援、就労支援 障害者施設と地域住民ボランティア 地域住民との交流、看護学生との交流 多職種・多組織チーム (MDT) 対象を中心にした地域における他職種連携 医療における多職種連携	講義	外部講師* 精神保健福祉士			
第 5 回		地域で暮らすためのサポート体制と自己決定支援	対象のサポート体制 パートナーであるコミュニティと多職種連携 自己決定 (エンパワメント) 支援	講義	専任教員*		
第 6 回		地域で暮らすための支援の実際	Case learning①緊急入院から社会復帰に向けた支援	演習	専任教員*		
第 7 回			②入退院を繰り返す人への支援 ③地域で生活する人への支援				
第 8 回		評価	修了認定試験 (1h)				
テキスト 参考図書	系統看護学講座 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 精神看護学〔2〕精神看護の展開 医学書院 <b>【参考文献】</b> ストレングスモデル実践活用術 萱間真美 医学書院 2018 退院支援ビギナーズノート全訂新版 末安民生 2015		評価 方法	筆記 70点 レポート 30点			
備考	<b>【事前学習】</b> ・精神障害者の福祉・支援に関する関係法規、障害者総合支援法、地域包括ケアシステム <b>【学習上の留意点等】</b> ・精神に障害がある人と家族のストレングス・レジリエンスを踏まえてリカバリーについて、学生自ら考える講義・演習を構築する。 ・各回授業に関連する簡単な事例を出し、学生参加型の講義とする。						